

名古屋能楽堂瓦版

第百八十五号

令和4年3月

舞台 名古屋能楽堂五月定例公演

日時：令和5月75日(日) 14:00 開演

【演目】能「鉄輪」(宝生流) シテ/衣婆 正宣 狂言「石神」(和泉流) シテ/佐藤 友彦

チケット販売開始

令和4年3月7日(金)

【料金】指定席 4,200円
自由席 一般 3,200円
学生 2,000円

【チケット取り扱い】

□名古屋能楽堂: TEL 052-237-0088

□名古屋市文化振興事業団チケットガイド:
TEL 052-249-9387

(平日 9:00~17:00/チケット郵送可)

□名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設
窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。
(工事休館などがありますので、ホームページ
でご確認ください。)

□チケットがば: TEL 0570-02-9999

※友の会会員の方(前売りのみ)、障がい者手帳等
をお持ちの方は割引いたします。ただし学生券の割引はありません。

※学生券は25歳以下を対象。

問合 名古屋能楽堂(連絡先下記参照)



能「鉄輪」 撮影:工房円

展示室 3月企画展「新作能面公募展/名古屋能楽堂秘藏品展」展

会期：令和4年3月8日(火)~4月7日(金) 9:00~17:00 (最終日は15:00まで)

この度名古屋能楽堂では開館25周年記念関連事業として、12月3日(土)宝生流「猜経」の公演で使用される能面「中将」の公募を行いました。今回の企画展では最優秀賞の作品を始めとした入選以上の作品を展示いたします。合わせて、能楽堂所藏品の中かろなかなか普段展示する機会のない品を一気にご紹介します。皆様のご来場をお待ちしております。



【主な展示物】

- ・能面「中将」
- ・能楽時絵重盃(のうがくまきえかさねさかずき)など

お知らせ 令和4年度定例公演の演目決定!

- 5月75日(日) 五月定例公演
能「鉄輪」(宝生流) 狂言「石神」(和泉流)
- 7月3日(日) 七月定例公演
能「八島」(金春流)
- 9月4日(日) 九月定例公演
能「葛城」(金剛流)、「舍利」(観世流) 狂言「蟹山伏」(和泉流)
- 10月22日(土) 十月定例公演
能「蟬丸」(喜多流) 狂言「八幡前」(和泉流)
- 1月3日(火) 正月特別公演
能「翁」(観世流)、「楊貴妃」(観世流) 狂言「牛鳥」(和泉流)
- 3月5日(日) 三月特別公演
能「求塚」(観世流)、「鶴」(宝生流) 狂言「釣針」(和泉流)

発行/名古屋能楽堂 <公益財団法人 名古屋市文化振興事業団> <http://www.bunka758.or.jp/>
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-1-1 TEL052-231-0088 FAX052-231-8756

名古屋能楽堂 3月の催物

2022年2月8日 現在

公演日	公演時間	催事名	主な番組等	入場料	問合せ先
6日 (日)	13:30 \n17:30	名古屋能楽堂 三月特別公演 能・狂言でめぐる街道の名所	能 御裳濯 (みもすそ) 狂言 鐘の音 (かねのね) 仕舞 教盛キリ (あつもり) 西行桜ヶ (さいぎょうざくら) 班女アト (はんじょ) 能 鞍馬天狗 (くらまてんぐ)	<全指定席> 正面席A 5,200円 正面席B・中・脇正面席 4,200円 学生券 (正面席A以外) 2,000円 ※学生券25歳以下対象 ※未就学児入場不可	名古屋能楽堂 052-231-0088 名古屋能楽堂チケット取扱公演
11日 (金)	19:00 \n20:15	観光都市NAGOYAを確立する例会	出演者 安田美沙子 氏 藤巻清 氏 中村好明 氏 菜白美歩 氏 名古屋観光専門学校学生	無料	(公社) 名古屋青年会議所 052-221-8590
13日 (日)	13:00 \n17:00	山村楽乃「明珠会」	<第一部> 第三十回 舞の会 菊づくし 浪速の四季 藤娘 他 <第二部> (15:00~) 第十回 山村楽乃 日本文化と舞 座敷舞の会 嵐の道行 八千代獅子 青海波 他	5,000円 ※学生1,000円	山村楽乃 090-2579-1211
19日 (土)	13:30 \n15:00	桃山的美とところ 特別鑑賞能	豊臣秀吉が愛蔵した「雪の小面」を用いた能「雪」	5,000円 (自由席) ※学生2,000円 (指定)	日本の伝統文化をつなぐ実行委員会 052-323-4499
20日 (日)	14:00 \n15:50	オペラ「カーリユー・リバー」	1. 解説 2. オペラ「カーリユー・リバー」	A席 (正面指定席) 6,000円 B席 (自由席) 4,000円 ※未就学児入場不可	(一社) 伝統文化芸術協会 052-217-8729 (平日10時~17時) info@zuihouryu.jp 名古屋能楽堂チケット取扱公演
26日 (土)	13:30 \n16:30	桃山的美とところ 特別展覧会	桃山芸術の映像投影による デジタル展覧会 「古典を楽しむ」 大人の勉強会 能楽 素囃子	大人 1,500円 学生・子ども 500円	日本の伝統文化をつなぐ実行委員会 052-323-4499
27日 (日)	10:00 \n16:00	桃山芸術の映像投影による デジタル展覧会 「桃山的美とところ」朗読 録音音声上演	桃山芸術の映像投影による デジタル展覧会 「桃山的美とところ」朗読 録音音声上演	大人 500円 学生・子ども 無料	

能楽堂舞台公開

入場無料

開催日 3月3(水)・14(月) 時間 10:00~16:00

能の素舞台を見ることが出来ます。

※ 感染予防のためご来館の際は、マスクをご着用ください。

- ☆ 公演の詳細、チケット等については、払い戻し等も含め各催事の問合せ先にご照会ください。
- ★ コロナウィルス等の事情により、変更などがある場合がございますので、事前に各催事の問合せ先にご確認ください。
- ☆ 公開情報のみ掲載しております。上記の他、主催者様のご要望による「非公開」催事や情報などもございますが、催事などの有無等お答えしかねますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

【能楽堂 Back Stage Report】

能楽堂の裏表 作り物倉庫の巻 能・狂言は基本、大道具や背景幕などの舞台装置は使用せず、演技や舞、謡によって観客に、何ものも舞台にいかにも情景があるように思わせます。しかし演目によっては簡素な道具を使用する場合があります。道具の係などなく、能楽師が自ら、竹で骨組みを作り、白の布を巻きのりろろな形を作ります。その場所が作り物倉庫です。



作り物倉庫内

「山」「立木台」「舟」「藁小屋」などその場で作って、終われば解体します。それが「作り物」と言います。大掛かりなものでは、《道成寺》に使う「鐘」があり、「一畳台」も作り物になります。そして、すでに形成されているものが「小道具」と呼ばれ、「鬘桶(かざらおけ)」「団扇」「杖」などがあります。



鬘桶の箱 一畳台など



道成寺の鐘